



- ・「馬の汗」の組成※(表1参照)を基に設計
- ・発汗で失った電解質を速やかに補給し、水分補給をサポート
- ・嗜好性と水飲みの良さを追求

成分：1 kg 中

- ・ナトリウム (Na) : 206g
- ・カリウム (K) : 133g
- ・クロール (Cl) : 437g
- ・カルシウム (Ca) : 21g
- ・マグネシウム (Mg) : 9g
- ・ブドウ糖 (Glucose) : 77g

表1 Mineral concentration in the sweat of this study's result and Mcconaghy's result

	Sodium (mmol/l)	Potassium (mmol/l)	Calcium (mmol/l)	Magnesium (mmol/l)	Iron (ng/l)	Phosphorus (ng/l)	Zink (ng/l)	Copper (ng/l)
Present study	89.4	33.9	5.3	3.8	5.09	2.37	2.12	1.32
Mcconaghy et al(1989)	143.5	37.5	5.1	4.2	-	-	-	-

* Mcconaghy FF, Holgson DR, Evans DL and Rose AL. 1995 Effect of two types of training on sweat composition. Equine Vet J Suppl. 18:258-288

電解質(イオン)の重要性

体の水分(体液)には、「電解質(イオン)」が含まれています。

電解質(イオン)とは、水に溶けると電気を通す物質のことで、水中では電気を帯びたイオンとして存在しています。

この電解質(イオン)は、「細胞の浸透圧を調節」したり、「筋肉細胞や神経細胞の働きに関わる」など、生命活動にとって非常に重要な役割を果たしており、電解質異常があると細胞や臓器の機能が低下し、命にかかわることがあります。

主な電解質(イオン)には、ナトリウムやクロール、カリウム、カルシウム、マグネシウムなどがあり、これらは5大栄養素としてあげられるミネラルに属し、ミネラルは水に溶けると陽イオンと陰イオンに分かれます。例えば、塩化ナトリウム(NaCl)は、水に溶けるとナトリウムイオン(陽イオン)とクロールイオン(陰イオン)になります。

このように、電解質(イオン)には様々な役割があり、すべての電解質(イオン)が相互に作用しあうことで、生命活動を支えています。

主な電解質(イオン)の役割

- ナトリウムイオン(Na⁺): 身体の水分量および浸透圧の調節、神経の伝達、筋肉の収縮など
- カリウムイオン(K⁺): 神経の伝達、筋肉の収縮、心臓の収縮など
- クロールイオン(Cl⁻): 身体の水分量および浸透圧の調節、胃酸の分泌など
- カルシウムイオン(Ca²⁺): 神経の伝達、筋肉の収縮、骨や歯をつくる、血液を固めるなど
- マグネシウムイオン(Mg²⁺): 筋肉の収縮、骨や歯をつくる、酵素の活性化など

■ 使用方法

1日30g~60gを目安に、運動強度や発汗の状態を見ながら適宜増減してください。